

### 大和町



町のPRキャラクター  
「アサヒナサブロー」



令和2年8月末現在  
人口:28,319人  
世帯数:11,961世帯  
大和町総務課  
022(345)1112

#### まほろばの里「大和町」

大和町は宮城県ほぼ中央に位置し、町のシンボル七ツ森や船形山、そして吉田川に代表される恵まれた自然と古からの歴史と文化の豊かな町です。

#### 「國恩記」ゆかりの地

今から250年ほど前の江戸時代、現在の和町吉岡に江戸と東北諸藩を結ぶ奥州街道と出羽街道の宿場町・吉岡宿があり、人々は街道を行き来する物資を藩の命令で運ばなければならぬ伝馬役が課せられていました。

しかし、この伝馬役には藩からの助成がなく、宿場は次第に困窮し、家を捨て逃亡する人も増えてきました。そのような中、町の将来を心配し、人々を苦しむ生活から救って吉岡宿を立て直したいと考えた9人の篤志家たちがいました。私財を投



吉岡の九品寺にある國恩記顕彰碑



当時の面影を残す吉岡の町並み

げ打ち一家離散も覚悟の上で、千両を工面して仙台藩に預け入れ、その利息で吉岡宿を救い、その経緯は「國恩記」として記録されました。そして歴史学者・磯田道史氏は、この「國恩記」に基づいて、「穀田屋十三郎」（「無私日本人」所収）という史伝を著し、平成28年には「殿、利息でござる！」と題した映画となりました。

当時の吉岡宿の街路は、幸運にもその姿をとどめています。9人の篤志たちの思いと、彼らと苦難を乗り越えた多くの人々に思いをはせながら吉岡宿めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 大崎市



大崎市イメージキャラクター  
「パタ崎さん」



令和2年8月末現在  
人口:128,562人  
世帯数:52,067世帯  
大崎市総務部  
秘書広報課  
0229(23)5023

大崎市は、世界農業遺産に認定された「大崎耕土」を有する豊かな自然環境、四季折々の食材と地域資源、そして地域文化の宝庫です。

#### オープン1周年「道の駅おおさき」

今年7月、「道の駅おおさき」はオープン1周年を迎えました。道の駅おおさきは、本市で三つ目となる道の駅で、国道108号沿いの市街地中心部にあります。米や野菜などの豊富な食材や地酒、特産品を販売する産直コーナーには、大崎の銘品が並びます。

#### 道路情報・休憩コーナー

ナーでは、雄大な「大崎耕土」の映像・パネル展示や市内の観光情報を発信しています。

また、施設内の柱や腰壁、格子壁、屋根小屋組みなど施設の多くに大崎市産の杉材を使用しており、木のぬ



旬の野菜が並ぶ「道の駅おおさき」



多くの人でにぎわう「あ・ら・伊達な道の駅」

くもりを感じることもできるつくりが特徴です。

#### 道の駅の頂点に輝いた

#### 「あ・ら・伊達な道の駅」

「あ・ら・伊達な道の駅」が「全国道の駅グランプリ2020」で初代グランプリに選出されました。「あ・ら・伊達な道の駅」は、鳴子温泉郷へと向かう道中にあるため利便性が高く、地産地消やご当地グルメ、産直野菜など、品ぞろえの豊富さが好評です。

大崎の魅力がいっぱい詰まった本市の道の駅に、ぜひお立ち寄りください。